

富士宮市史編さんだより



地域の伝統行事の調査

令和7年度刊行予定の『富士宮の歴史 民俗編』では、人の暮らしや地域に残る伝統行事などを取り扱います。令和2年4月に本格的に市史編さん事業がスタートして以降、民俗部会では、市内各地で暮らしについての聞き書き調査や、行事の見学調査を続けてきました。

富士宮市を代表する行事の1つに、富士宮まつり（11月3日～5日）があります。富士山本宮浅間大社の秋の例祭にあわせて、20の区が山車・屋台を引き廻し、富士宮囃子（静岡県指定文化財）の演奏で町中が賑わいます。今年は、4年ぶりに新型コロナウイルス感染症による制限のない状態での開催となりました。

そのため、準備の段階から調査員が各区へ伺

い、祭礼の組織や実施状況、かつての様子などについて調査を行いました。あわせて、各区の山車・屋台の現在の姿を写真撮影しました。期間中は祭典実行委員会や青年協議会の皆様をはじめ多くの関係者の方々にご協力いただきました。心より御礼申し上げます。

このほかにも1年を通じて多くの行事が行われています。中でも1月のどんど焼きは多くの人にとって身近なものでしょう。これは正月飾りを焼いて年神様を送る行事ですが、市内では道祖神の祭りとする地域が多くみられます。

今後もこうした行事に調査員が出向き、調査を続ける予定です。地域の行事などで見かけた際には是非お声掛けください！



聞き書き調査の様子



富士宮まつり（山車の競合い）



地域の行事（道祖神の夏祭り）



どんど焼き

内野の火伏念仏

内野の火伏念仏（富士宮市指定文化財）は市内北部の内野地区・足形地区で伝承されている念仏行事です。かつて、集落全体が火事にあったことから、そのようなことが2度とないように火防を願って始まったとされています。

念仏は新築または改築した家を当屋^{とうや}として行います。天井を五色の紙で飾り付け、六斎衆

と呼ばれる人々を中心に太鼓と鉦^{かね}の音にあわせて、独特の節回しで念仏を唱えます。

近年は当屋の確保が困難なことから、内野区民館を会場としていましたが、令和6年1月18日は6年ぶりに個人宅で開催します。どなたでも見学できますので、興味のある方は文化課までお問合せください（☎0544-22-1187）。



古い資料を探しています！！

これまでに市で調査・収集してきた多くの歴史資料を活用するほか、新たな資料の調査・収集も行っています。お持ちの資料がありましたら、市史編さん室までご連絡ください。

状態が悪いもの、判断がつきにくいもの、よくわからないものでも、お気軽にお問い合わせください。ご協力よろしくお願ひします。

— 探している資料 —

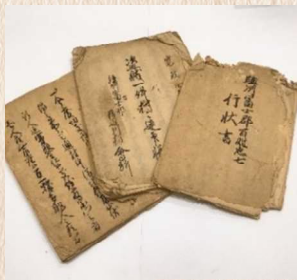
江戸時代以前から明治、大正、昭和30年代頃までのもの

◆古文書類◆

古い文書・日記・印刷物・古地図・絵図

◆写真・絵葉書類◆

市内の景観(街並み・風景)、行事、生活、服装などがわかるもの



古文書



古い写真



古い絵葉書

[発行] 富士宮市文化課市史編さん室 〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地

☎ 0544-22-1187 ✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

🌐 <http://www.city.fujinomiya.lg.jp/citizen/shishi/shishi.html>

